

平地区

風に、キャンドルに思いを託し、犠牲者を偲ぶ

11日、豊間では区と脚本家・倉本聰さんによる三回忌追悼行事、薄磯では修徳院で真言宗智山派青年会の僧侶約60名による三回忌法要が行われました。また、前日には薄磯海岸で埼

玉島のボランティア団体による鎮魂行事「千の風に乗って…」が行われ、犠牲者への弔いと復興への思いを乗せてたくさんの風が大空を舞いました。



↑11日・修徳院で三回忌法要①
多くの犠牲者が眠る薄磯の修徳院には朝から多くの人々が訪れ、故人を偲びました。震災で親族2名を亡くした鶴巻美智子さんは「昨年は悲しむ余裕もなく過ごした。三回忌のほうが寂しく感じますね」と話しました

←10日・薄磯海岸「千の風に乗って…」
参加した親子は約300組。さまざまな思いを乗せて海岸に風が舞いました

↓11日・修徳院で三回忌法要②
東京都のNPO法人「昭和みどりのいちようの会」が育てたイチヨウの苗3本を境内に植樹。震災前にはここにイチヨウの大木があったそうで、多くの参列者が昔を思い出し、懐かしみました



↑11日・豊間海岸で三回忌追悼行事
区主催の供養式典のあと、約5千本のキャンドルに火が灯され、海岸約1.5kmを彩りました。会場には「とよま龍灯会」がキャンドルで描いた「ふるさととよま」の文字も

小名浜地区

小名浜沿岸地区三回忌法要と復興祈願祭

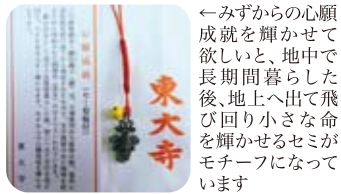
【3月10日 真福寺】

東大寺の別当(華厳宗管長)と執事長が訪れ、震災の犠牲となった方々の三回忌法要が行われました。



↑遺族や区の役員、総代など約50名が集まり震災で亡くなられた方々の御冥福を祈りました

→東大寺から参列者にセミア型根付(小さな昆虫をモチーフにした鍵のお守り)が贈られました



←みずからの心願成就を輝かせて欲しいと、地中で長期間暮らした後、地上へ出て飛び回り小さな命を輝かせるセミがモチーフになっています

【3月11日 江名諏訪神社】

神道青年東海地区顧問会と浜通り神職有志美浜会が訪れ、東日本大震災物故者慰霊並びに復興祈願祭が行われました。



←14時46分にサイレンが鳴り響き、神社の境内から海に向かって黙とうを捧げました

↓江名地区復興の願いを込め、玉串奉奠を行う金成克哉代表



←笙や龍笛などの雅楽器が演奏される中執り行われた神事

勿来地区

「なこそその希望ウォーク2013 ~あなたに見てほしい被災地の現実~」開催

3月10日、勿来市民会館をスタートし、5.4kmコース参加者は錦須賀海岸沿いを、16kmコース参加者は錦須賀海岸沿いから岩間、小浜方面へと向かい、市民会館へとゴールしました。



↑犠牲者に手を合わせ、追悼する参加者(錦町須賀地区)



↑海岸沿いを歩く参加者のみなさん(小浜地区)



↑開会式を前に黙とうする参加者たち。震災後、いわき市の復興を支援してきた山口県宇部市からも、40名が参加しました

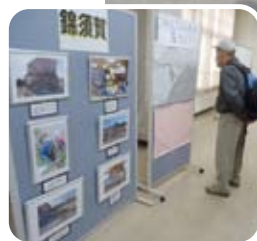


↑「木偶舎(もくぐうしゃ)」とチングドゥルの方々による文楽人形の披露も



↑スタンプラリー形式で行われた、なこそその希望ウォーク。参加者には、記念のピンバッジがプレゼントされました

→地元のみなさんから、豚汁と甘酒が振舞われました(岩間地区)



←勿来市民会館では、被災地の写真展も開かれました